

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学） 月例報告書（6月）

留学先：マカオ大学

氏名：松岡ななみ

こんにちは。6月が終わり、私のマカオでの留学生活がちょうど半年経過しました。夏休みも半分が終わり、残りの半分は旅行と日本への一時帰国となります。6月の月例報告書は、ほとんどをマカオで過ごした夏休み前半戦について書いていこうと思います。



・夏休み中のマカオでの過ごし方

5月から夏休みが始まり、先月にはルームメイトのホームタウンに遊びに行き、その後マカオに帰ってきてからは、ルームメイトもおらず、一人での生活が始まりました。夏休みということもあり、大学内に残る人の数も少なかったり、普段の学校がある期間とは違う点があるため、生活において困ることがいくつかありました。まず、一番大変なのは食料の確保です。夏休み中は寮食の提供が無いため、三食全て自分たちで確保しなければならないことです。私は、スーパーマーケットやダイソーで麺類（うどんなど）をや、朝ご飯用にシリアルやヨーグルトを調達し、寮のパントリーで、自分で茹でて食べたり、友達がくれたレトルトのご飯を温めて食べたりしていました。また、大学敷地内のレストランやカフェ、テイクアウト専門店、パン屋さんなどは営業をしていたので、お腹すいたら買いに行ったりしていました。栄養バランスがとても悪い食生活を送りました。



そして、この1か月でぶち当たったもう一つの大きな壁は、半年たったというのにホームシックと言うのか、すごく孤独感を感じたりしてストレスをすごく感じました。天気が悪い日が続いたこともあったと思いますが、外に出る気にもなれず、ずっと部屋にこもって動画を見たり携帯でゲームをしたりという生活をしていたのですが、そんな自分に対して「何をやっているのだろう」と思ったりして、何もやる気になれなくなってしまいました。寮内の学生の人数がとても少ないこともあったりして、人に接することが全くと言っていいほどなかったからだと思います。マカオに来て一番、日本に帰りたい、友達に会いたいと強く感じました。この状況を抜け出すために、なるべく外に出かけたり、一緒に残っている友達を誘ってご飯食べに行ったり、友達に電話したりしました。この精神状態を経験したことで友達や人との関わりの大切さを改めて感じました。



ここまで悪い点ばかり書きましたが、いい点もありました。それは、マカオを散策する時間がたくさんあったので、改めて観光してみると、半年過ごしてきたけど知らなかったり行ったことなかった場所へ行けたり、新しい発見がありました。今まで行ってみたくてもなかなか挑戦できなかったローカルなお店にも行けました。これを機に、もっとマカオのいいところを見つけられたらいいなと思います。

#### ・シンガポール・マレーシア旅行

おまけに、6月中には5日間ほどシンガポールとマレーシアへ旅行にも行ってきました。マカオは日本からよりもアジアの国へ行くのに安く行けるので行ってきました。どちらも初めて行きましたが、ローカル料理をたくさん食べられたり、有名な観光地に行けたりしてとても楽しかったです。



今月の報告書はあまり書くことが無く短くなってしまいました。残りの夏休みは、ベトナムとヨーロッパに旅行に行ってから日本に1か月ほど帰ります。久しぶりの日本なのでとても楽しみです。